くすりとからだ　～小児の薬の飲み合わせについて～

2025年秋号

こんにちは。市立御前崎総合病院です。
涼しくなり、秋らしさを感じるようになりましたね。

お子さまが病院を受診したとき、粉薬が処方されることがあると思います。お薬を服用することを嫌がりジュースやアイスなどと一緒に服用することはありませんか。しかしながら味や効果の面から、お薬によっては特定の飲食物との飲み合わせがよくない場合があります。今回はお子さまがお薬を服用するときに注意が必要なお薬と飲食物の飲み合わせについて、いくつかご紹介します。

苦味が増す

オセルタミビルDS3%「サワイ」については、バニラアイスやリンゴジュースと一緒に服用しても飲みやすいとされています。

タミフル（オセルタミビル）：抗インフルエンザ薬

【問題が生じる飲食物】乳酸菌飲料、バニラアイス、りんごジュースなど
【原因】味が変化し、苦味をより強く感じる
【対策】苦味を感じにくい服薬補助ゼリー、ココア、チョコクリームなどに混ぜる

フロモックス（セフカペンピボキシル）：抗生物質

【問題が生じる飲食物】飲料全般（水など）
【原因】苦味を防いでいるコーティングが剥がれる
【対策】細粒をつぶさない、溶かさない
時間の経過とともに効果が減弱するため、混ぜた場合は速やかに服用する

クラリシッド、クラリス（クラリスロマイシン）：抗生物質

【問題が生じる飲食物】酸性飲料（柑橘系飲料、炭酸飲料、乳酸菌飲料、スポーツドリンク、ヨーグルトなど）
【原因】苦味を防いでいるコーティングが剥がれる
【対策】酸性飲料以外の飲み物などで服用する

効果が弱まる

エリスロシン（エリスロマイシン）：抗生物質

【問題が生じる飲食物】酸性飲料（柑橘系飲料、炭酸飲料、乳酸菌飲料、スポーツドリンク、ヨーグルトなど）
【原因】薬剤が酸性化で不安定になり効果が低下する
【対策】酸性飲料以外の飲み物などで服用する

ビクシリン（アンピシリン）：抗生物質

【問題が生じる飲食物】酸性飲料（柑橘系飲料、炭酸飲料、乳酸菌飲料、スポーツドリンク、ヨーグルトなど）
【原因】薬剤が酸性化で不安定になり効果が低下する
【対策】酸性飲料以外の飲み物などで服用する

セフゾン（セフジニル）：抗生物質

【問題が生じる飲食物】鉄含有製品（粉ミルク、鉄剤）
【原因】鉄と結合し吸収されにくくなる
【対策】鉄含有製品とは同時服用を避け、間隔を3時間以上あける

効果が弱まる

テオドール（テオフィリン）：気管支拡張薬

【問題が生じる飲食物】カフェイン含有製品
【原因】興奮させる作用が強まる
【対策】カフェイン含有製品との同時服用を避ける

今回ご紹介したものは一例です。他にも注意が必要なものは数多くあります。それぞれのお薬と飲食物との飲み合わせについては薬剤師にご相談ください。

参考資料：添付文書、インタビューフォーム、薬がみえる　vol.4、日経ドラッグインフォメーション　2010年2月8日、
オセルタミビルDS3%「サワイ」を服用される患者さん・ご家族の方へ（沢井製薬株式会社）